

近藤康男 こんどう やすお 農業経済學者、農學博士。明治二十一年一月一日愛知縣生れ（二八九一）。大正十四年東京帝國大學農學部農業經濟學科卒業。昭和十六年同大教授、二十二年農林省統計調査局長兼任、二十四年武藏大學教授、五十四年農山漁村文化協會會長。『近藤康男著作集』全十二卷別巻一（昭和四十九年―五十一年刊）がある。

著書『農民經濟の諸問題』（昭和九年十一月五日日本評論社「農村問題大系」）、『戦争と科學』（合著・帝國大學新聞社編、昭和十六年八月―二十五年帝國大學新聞社）、『小型底びき減船整理の社会経済的影響・第一部―沈船した地区での調査』（坂本楠彦共著、昭和二十八年七月十日東京大学農学部農業經濟研究室「漁業經濟調査」）、『危機はこゝから来ている』（合著・吉野源二郎編、昭和二十九年二月二十日厚文社）、『多獲性洄游魚の処理加工にかんする研究・第一部―サンマ』（上杉重一郎共著、昭和二十年二月十日刊「多獲性洄游魚」）、『日本農業の經濟分析―土地所有』（昭和二十四年四月七日岩波書店）、『新中国のあこおと』（昭和二十四年六月―二十五年中公共論社）、『昭和ひとけたの時代』（昭和五十七年七月―二十五年農山漁村文化協会）等。

